

瓊林49～100号 「随想」複数寄稿者

此処では3頁にわたり「瓊林」49～100号の「随想」複数寄稿者76名・488篇の原稿表題・掲載号を掲げる。各稿に底流する思念は、「瓊林」誌を掲げての「ノブレス・オブリジエ」と「リベラルな生活倫理」であった。複数寄稿者の代表的な存在に、鶴谷栄一・田村秀忠・松本比佐雄・八尋正隆(S9=27回卒)の各氏があり、それ以前の先輩、寺崎勇夫(S2=20回卒)・古賀琢一(21)・末永恒雄(25)・珍竹林・五島敏郎(26)と共に、昭和初期に母校を終え、戦中に自己を確立した戦中派で、戦後経済成長の中核を担い、全国区「長崎高商」が形成した「瓊林」を「長崎大学経済学部」に遺された方々であった。

本表に入る前に、主だった方々のご紹介をしたいと思います。

寄稿者卒回	寄稿者氏名	寄稿数	代表記事～寄稿者の特質など
高商16	塚原 仁	2	長崎出身・永年母校教授～「病中及び療養旬日記」「老耄録」・著者「雑草雑記」他・粹人
高商18	木村 明	3	1928(S3)米国初訪記～「一世半」「花の思い出」「わたしの米国留学(1)(2)」
高商19	浜田千敏	2	(1946(S21))/8/21・手記～「難民生活1周年の思い出(正)(続)」
高商20	寺崎勇夫	17	陸軍主計少佐--「大阪瓊林」編集～「南九州敗戦日記」-「長崎の町ある記」
高商20	川畑明彦	2	T13母校入学～「山女魚とハエ」「愛憐奇縁(学生時代の記録)」・T13母校入学～
高商21	古賀琢一	20	「僕の回顧録①～⑩」「卒業して呉れと頼むから」「嗚呼、寺崎勇夫君」
高商24	三瀬清次郎	2	長崎産～1982年本会事務局長～「薄命の(成隣会館)」「十年目の邂逅」(C表と重複)
高商25	末永恒雄	13	「萬葉恣訓」「たけちみこの夢」万葉集音韻研究者
高商26	珍竹林	19	南高加津佐出身・「昔を今に」(11～29)-「銅貨」～本名本多松男
高商26	五島敏郎	15	丸紅OB・世界旅行人-「瓊林会の本」著書多数-「大阪瓊林」～「通関こぼれ話」
高商27	鶴谷栄一	44	長崎市江戸町生・大分デパート勤務40年の生活雑感「男の笑顔」「星と夢と」
高商27	田村秀忠	31	「北京随想・北京の犬」「北京随想・鯉」「雑事茫茫」-中国の記憶-男の仕事
高商27	松本比佐雄	21	戦後50年老兵の瓊林会母校観-田村教授転出-「老春徘徊記」「傘壽の研究室」
高商27	八尋正隆	14	「ガダルカナル戦記」-「幻のガダルカナル」～月星商事勤務・高潔の人
高商27	中島文雄	4	朝鮮在の銀行から現地平壤歩兵77連隊へ「長崎の思い出」「残存記(1)-(3)」
高商27	長田俊雄	2	永年北九州支部長・月星商事社長～「印象に残る諸先生」「瓊林会とわたし」
高商28	柴山信雄	8	(S14卒・島尾敏雄(32)の文学考～「島尾文学の世界(1)-(7)」・檀一夫「能古島幻想」
高商31	鮫島正勝	9	1935(S10)入学・S13卒～「春香菜咲」(ハルカガ 特)「懐旧長崎旅日記」「善福寺川細路記」
高商31	松崎秀治	8	同上卒・長崎高商の思想犯はゼロ～「武藤先生お墓参拝の記」「二・二六事件前後私譜」
高商34	江頭 巖	11	「武藤長蔵先生の思い出」「原爆俳人松尾敦之先輩のこと」
高商35	中村敏郎	2	恩師(仏教青年会)山本普道先生に捧ぐ「インドで考えたこと」(仏跡巡礼記)
高商37	藤原益蔵	19	ポツダム少尉-「兵庫県南部地震罹災記」-「1枚の写真」「長崎の歌曲」
経専41	鐘ヶ江敏	11	江戸・長崎学草稿多数～「長崎の東照宮」「電通院の瓊林」
経専42	松竹秀雄	6	長崎稲佐出身・母校講師・著書多数～「片淵四丁目裏街道」「散歩道から稲佐風土記」
経専44	高石洋一	6	「旅とコーヒー」「ネパール・トレッキングの楽しみ」「中南米を旅して」「台湾への旅」
学2	江島正信	8	「米国移民博物館を見学して」「どんな社会を目指すのか」「米国NYテロ事件の思う」
学5	永池宏洋	15	初期学卒者の生活雑感～「下町のニーチェはかく語り」「経済学部の青春」-
学5	徳山宣也	4	瓊林友の会編集～「恩師河野先生のこと」「捕鯨論議に考える」「斎藤茂吉と粕谷旅館」
学6	山崎 匠	22	「北九州支部30年史」編纂-「星加さんのこと」学部卒ライター-河野ゼミ

1 安藤寛(6)			11 古賀琢一(21)			16 珍竹林(26)			21 雪竹助三(27)		
1	何故！長崎が懐しい	51	1	僕の回顧録	54	1	昔を今に	49	1	「私の本棚」から	60
2	世間に忘れられてはならない	55	2	僕の回顧録②	55	2	昔を今に(12)	50	2	講演部人脈発掘不始末記	64
3	明治時代の母校	77	3	僕の回顧録③	56/7	3	昔を今に(13)	51	3	同上(中)	65
4	素晴らしい実を結んだ話	78	4	僕の回顧録④	58	4	昔を今に(14)	52	4	同上(下)	66
2 塚原仁(16)			5	僕の回顧録⑤	59	5	昔を今に(15)	53	5	同上(捕逸)	67
1	病中及療養句日記	50	6	僕の回顧録⑥	60	6	昔を今に(16)	54	6	白寿歌人安藤寛先生訪問	78
2	老耄録	61	7	僕の回顧録⑦	61	7	昔を今に(17)	55	7	同窓会の活性化私案	81
3 木村明(18)			8	僕の回顧録⑧	62	8	昔を今に(18)	56	22 中畠文雄(27)		
1	一世半	59	9	僕の回顧録⑨	63	9	昔を今に(19)	57	1	思い出	57
2	花の思い出	69	10	僕の回顧録⑩	64	10	昔を今に(20)	58	2	残存記(1)(2)	98/9
3	わたしの米国留学(その1・2)	71/2	11	僕の回顧録⑪	65	11	昔を今に(21)	59	3	残存記(3)	100
4 原田弘道(20)			12	僕の回顧録⑫	66	12	昔を今に(22)	60	23 柴山信雄(28)		
1	長崎回顧(短歌抄)	65/6	13	卒業して呉れと頼むから	71	13	昔を今に(23)	61	1	「島尾文学の世界」	72
5 川畑明彦(20)			14	下駄の音	72	14	昔を今に(24)	62	2	同上(2)	73
1	山女魚と鮓(ハ)	50	15	住宅を倒した話	73	15	昔を今に(25)	63	3	同上(3)	74
2	愛憐奇縁	53	16	「嗚呼、寺崎勇夫君」	75	16	昔を今に(26)	64	4	同上(5)東欧紀行(1)	75
6 寺崎勇夫(20)			17	先輩の歌を賞め就職予定	76	17	昔を今に(27)	65	5	同上(4)東欧紀行(2)	76
1	南九州敗戦日記	54	18	卒業式	77	18	昔を今に(28)(29)	66/7	6	同上(6)履学生	77
2	南九州敗戦日記(続)	55	19	短歌について	80	19	銅貨(故・本多松男)	68	7	同上(7)島尾ミホさんの立場から	78
3	珍竹林長崎日記の武藤先生	57	12 津山秀雄(22)			17 五島敏郎(26)			8	能古島幻想	79
4	芥川龍之介と武藤先生	58	1	墨西哥ケルルの26聖人壁画	51	1	ニース発観光列車の旅	49	24 鮫島正勝(31)		
5	長崎の町ひとりある記	59	2	老兵北ボル材に戦うの記	53	2	嵯峨野漫策	50	1	春香菜咲	57
6	(続)長崎の町ひとりある記	60	3	親子二代のヒコーキ野郎	58	3	防火用水	51	2	懐旧長崎旅日記Ⅰ	58
7	長崎の町ひとりある記	61	4	中国シルクロードの旅	71	4	或る棟梁の話	52	3	懐旧長崎旅日記(Ⅱ/Ⅲ)	59/60
8	惜別、山田憲太郎博士	62	5	同上(その2)	72	5	居酒屋	53	4	懐旧長崎旅日記(4)	61
9	コンブラ醤油瓶の旅	63	13 末永恒雄(25)			6	通関こぼれ話	54	5	懐旧長崎旅日記(完)	62
10	五十年前の講義プリント	64	1	たけちみこの夢	53	7	テヘランからの便り	55	6	善福寺川細路記・2篇	63/5
11	平戸から長崎へのんびり旅	65	2	万葉恣訓	54	8	長崎駅物語	56	7	善福寺川細路記	68
12	平戸・長崎のんびりの旅	66/7	3	万葉恣訓	56	9	甲子園今昔	57	25 松崎秀治(31)		
13	「コンブラ醤油瓶」あれこれ始末記	68/9	4	万葉恣訓(四)	57	10	スイスの宿	58	1	武藤先生お墓参拝の記	66
14	同上(完)	70	5	万葉恣訓(五)	58	11	扇港変奏曲	59	2	オランダ語学習私譜	68
15	吉田茂・高商生氏名調査	72	6	万葉恣訓(六)	59	12	浅き夢みし	60	3	「心の灯」連想私譜	70
7 山口実(21)			7	万葉恣訓(七)	60	13	眼鏡橋幻想	61	4	二・二六事件前後私譜	78
1	七十二才の秋	55	8	万葉恣訓(八・九)	61/2	14	昆陽の水鳥	62	5	熊本寮歌祭雑感私譜	79
2	日記・六十年エトセトラ	58	9	万葉恣訓(10/11)	64	15	ブカレストの街角にて	64	6	恩師小山隆先生追想私譜	83
8 史介民(21)			10	万葉恣訓(12)	67	18 江崎湖南雄(25)			7	武藤先生随行私譜	85
1	寄「瓊林会」72号・文稿	72	11	万葉恣訓(13/14)	68	1	質屋直行の恩師の外套	62	8	長崎駅頭追想私譜	95
2	寄下期「瓊林会」文稿	74	12	万葉恣訓(15/16)	69	2	クアラルンプールにて	63	26 長縄三郎(28)		
9 浜田千敏(19)			14 菊岡孝一(24)			19 高橋一人(25)			1	ソ連邦北極圏を訪ねて	61
1	難民生活1周年の思い出	54/5	1	商高よこれだよいか	82	1	三羽鳥の記(正・続)	57/9	2	オーストラリア・NJを訪ねて	62
2	巖流島の春	67	2	昭和初頭の頃の思い出	84	2	皇居勤勞奉仕印象記	60	3	すぐ裏を考える癖	63
10 於保薫平(22)			15 広野敬吾(9)			20 榎屋九秋/良一(14)			4	中国(東北地方)旅行記	83
1	佐世保地域地名雑考	57	1	友の会・四年の歩み	59	1	犬と老人	50	27 平岡邦三(19)		
2	吟行記/老兵追懐	59/60	2	瓊林友の会と私	64	2	花の旅—吉野と奈良	64	1	アメリカ遊学記	80
3	欧路歴詠(2)	62	3	瓊林友の会の諸々の機能	68	3	田崎仁義先生の思い出	66	2	一九会の記	90

28 鶴谷栄一(27)		29 田村秀忠(27)		34 松本比佐雄(27)		38 永島忠夫(32)					
1	帰って来た光	49	1	長崎ちゃんぽんぬすと聞きのこと	54	1	田村教授の転出、残念	75	1	不勉強の思い出(続)	55
2	男の笑顔	50	2	北京中央公園七不思議	55	2	大學の質の低下を憂えて	80	2	不勉強の思い出	56
3	ハローじいちやん	51	3	北京の回想あれこれ	56	3	(70才のボヤキ)暑中見舞	81	39 土師二三生(32)		
4	タイムトラベル(46)	52	4	小費(心付け)の雑筆	57	4	残照の中で/健康と旧友	82/3	1	池田さんと私と瓊林会と	52
5	ある対決(49)・花より団子	53	5	とりとめもなく	58	5	人間の耐用年数	84	2	佐渡旅行記	59
6	裏方の弁(52)	55	6	北京随想・思い新た8/15	59	6	私の瓊林会・母校観	85	3	友の会観梅バス旅行	60
7	この友にしてこの情あり	56	7	北京随想・鯉	60	7	友情無常	86	40 藤原益蔵(37)		
8	神さまには内緒	57	8	青春の思い出	61	8	生きる検証-50億人の1人	87	1	一枚の写真	82
9	私のシルクロード論	58	9	こころ	62	9	「生涯現役」とは「人生これから」	88	2	你吃飯了慶	83
10	(続)私のシルクロード論	59	10	北京随想・北京の犬	63	10	「老」思考錯誤記	89	3	首位転倒	84
11	変化の海に漂う(62)	60	11	今日此頃(I・II)	64/5	11	若い英才たちへの恋文	90	4	左・右	85
12	ここに光あり(63)	61	12	戦争の傷跡	66	12	いのちかけます」	91	5	兵庫県南部地震罹災記	86
13	私の晴耕雨読(64)	62	13	北京随想・思いしままに	68	13	ボケ経済ボケ世間	92	6	「三山」考	87
14	星と夢と(66)	63	14	考える	69	14	老春徘徊記	93	7	シップ チャンドラ	88
15	賀状アラカルト(68)	64	15	出合い	70	15	老春徘徊記(2)	94	8	肩引き	89
16	ふるさとの遠花火(69)	65	16	雑事茫茫/雑音	71/4	16	片淵の君よ永遠に!	95	9	阪神大震災から2年経って	90
17	腐っても鯛(71)	66	17	天津伊太利租界「五経路」	75	17	傘寿の研究室(1)	97	10	こわい夢	91
18	いのちいっぱい(73)	67	18	ロッカーから出てきた感謝状	81	18	傘寿の研究室(2)(3)	98/9	11	日本語を考える	92
19	ちぎれ雲(75)	68	19	長崎漫画家「崑かっぱ像」	82	19	傘寿の研究室(4)	100	12	貰い水	93
20	惑星の瞳(77)	69	20	「般若心経」の「空」とは	84	35 八尋正隆(27)			13	唐筆	94
21	てのひらの虹(79)	70	21	気功とは気の効果	89	1	回想或るガダルカナル戦記	71	14	半睡翁のつぶやき	95
22	明治の気迫(80)	71	22	「自分自身の存在」	90	2	悔恨或るガダルカナル戦記	72	15	長崎の歌曲	96
23	夢現(ゆめうつつ)	72	23	どわすれ・小さな出合い	91	3	オースティン山	73	16	「明清楽・九連環」	97
24	甦る青春(84)	73	24	皇居に在る「日継の間」	94	4	さらばオースティン山	74	17	「坂東丸」	98
25	喜寿爽(85)	74	25	華交互助会の米寿祝に出席	95	5	祖国はるかガ島戦記	76	18	赤い太陽	99
26	友情、風に乗って	75	26	MRIシステムに栄光あれ	96	6	蘇生	77	19	白内障の手術	100
27	四捨五入	76	27	今、生きる	97	7	虎口を脱す	78	41 江頭巖(34)		
28	餅まき	77	28	回顧録 男の仕事	98	8	餓島啾啾	79	1	武藤長蔵先生の思い出	62
29	君死に給うことなかれ	78	29	介護保険の「要支援」	99	9	補稿(10)-或るガ島戦記	80	2	故・武藤先生の思い出(2)	68
30	運命共同体	79	30	ぼけたらあかん長生きしなはれ	100	10	淋しいだろうなあ	81	3	武藤先生の思い出(その3)	69
31	されど長崎	80	30 長田俊雄(27)			11	生きていることはいいなあ	82	4	武藤先生の思い出(その4)	70
32	古い路遅けく(101)	81	1	印象に残る諸先生	49	12	それでも生きていた	84	5	武藤先生の思い出(5/6)	71/2
33	瓊林魂(102)	82	2	瓊林会とわたし	53	13	幻のガダルカナル	85	6	武藤先生の思い出(6/6)	73
34	原子雲とめだか(103)	83	31 中村敏郎(35)			14	密林に呑まれた兵隊たち	86	7	原爆俳人・松尾敦之先輩	74/5
35	源流太鼓(104)	84	1	仏像巡礼インドで考えたこと	60	13	さらばガダルカナル	87	8	同上 (3)(4)	76/7
36	残りの秋	85	2	仏像巡礼インドで考えたこと	61	14	故国に還る	89	42 山崎良文(37)		
37	新しき器(106)	86	32 兵藤幸雄(38)			36 糸山寛治(38)			1	理の人情の人	61
38	同郷の士(その1)	87	1	長崎のカステラげな	72	1	「米欧回覧実記」を読む	69	2	「あの世」はあるのか	62
39	崎二七坂(108)	88	2	大阪総会に学ぶ	81	2	万葉放浪記	70	3	生と死の門	63
40	秀吉「心配ご無用」(109)	89	3	今、長崎の風は?	87	3	万葉放浪記(正・続)	71/2	4	祈りによる世界平和運動	64
41	思案橋(110)	90	4	文集「暁星淡く」の生涯	91	4	「人みなやさし桃の花」	74	5	布衣の記	65
42	ジョーク作戦(111)	91	5	シーボルトに会いたい	94	37 枝川一雄(23)			6	人間の想念について	66
43	ひたすらなる力(112)	92	33 野口芳太郎(24)			1	山の辺の春	64	7	守護霊について	68
44	女狐(113)	93	1	葦の瑞からアメリカ覗く	63	2	斑鳩中宮寺弥勒菩薩像	83	8	エスペラントのすすめ	69
			2	葦の瑞から欧州覗く	65						

43 石盛要(39)		52 三村脩(G1)		62 永池宏洋/北有馬洋(G5)		71 山崎匠 (G6)					
1	旅順再訪	89	1	浪商と長崎高商と私と	94	1	病める女房生ける亭主を走らす	54	1	河野先生の喜寿を祝す	56
2	センチメンタル・ジャーニー	92	2	浪商と長崎高商と私(2)	95	2	近時雑感	61	2	マニアの独り言	76
3	鎮魂 戦没同窓生	98	3	浪商と長崎高商と私(3)	96	3	下町のニーチェはかく語りき	70	3	校正子の独り言	77
44 清野信之(40)			4	浪商と長崎高商と私(4)	97	4	下町のニーチェはかく語りき(2)	71	4	不経済学士の独り言	78
1	片淵町の思い出	84	5	浪商と長崎高商と私(5)	98	5	下町のニーチェはかく語りき(3)	72	5	嗚呼、雲仙	79
2	高祖雅己君の殉職	85	6	浪商と長崎高商と私(6)	99	6	下町のニーチェはかく語りき(4)(5)	73/4	6	片仮名氾濫時代	81
45 林田重美(20)			7	浪商と長崎高商と私(7)	100	7	経済学部の青春	85	7	ルール偏重時代	82
1	思い出の英国点描	51	53 江島正信(G2)			8	経済学部の青春(2)(3)	86/7	8	マニア/つむじ曲りの独り言	83/4
2	平和のための大学	62	1	米国移民博物館を見学して	93	9	経済学部の青春(4)(5)	88/9	9	「北九州支部30年史」余録	85
			2	経済戦略会議の報告を読んで	94	10	箱根五楽会寸描	92	10	ヘソ曲がりの独り言	87
46 野副省三(41)			3	長銀事件の歴史的背景	95	11	ただ今、六〇代真只中	95	11	不まじめな読書家の弁	88
1	近頃の若い者	50	4	どんな社会を目指すのか	96	12	歌ありて楽し	100	12	心意気と心尽くし	89
2	カンボジア見聞録(1)(2)	80/1	5	株主代表訴訟の判決に思う	97	63 徳山宣也 (G5)			13	友人の「個展」	90
3	悠游会(41)・中国旅行記	83	6	難民-彼等は故郷に帰還できるか	98	1	斎藤茂吉と粕谷旅館	62	14	北九州総会余録	91
4	ミャンマー見聞録	93	7	米国NYテロ事件に思う	99	2	準硬式野球部の思い出	74	15	つむじ曲がりの独り言	94
5	「瓊林」の陰から	94	8	ローズ敬遠事件に思う	100	3	「捕鯨論議」に考える	82	16	一枚のCDから	95
47 鐘ヶ江敏(41)			54 張本五郎(G6)			4	恩師河野吉雄先生のこと	50	17	カミとともに	96
1	「江戸東京博物館に大先輩を偲ぶ」	85	1	“侘び”と“寂び”	86	64 湯藤康子(G5)			18	自転車操業	97
2	「長崎の東照宮」	87	2	去る者は追わず	99	1	こんにちは瓊翠会です	74	19	星加さんのこと	98
3	母校創立90周年に思う/私と外国語	88	55 川村忠男(G4)			2	当世就職事情	95	20	ひと山こえて	99
4	「長崎」と「江戸」	89	1	母校の庭	81	65 岩松繁俊(40)			21	数字に思う	100
5	「伝通院の瓊林」	90	2	浅野金兵衛先生とのほろにが話	83	1	わたしのマドリード	51	72 佐野暁(G3)		
6	雲仙で「暁星淡く」を舞い	91	3	瓊林会に若き血を!	99	2	平和のための大学	62	1	外国語を学んで	99
7	伝通院の「瓊林」その後	93	56 渡辺凱昌(G3)			66 平尾勇(38)			2	女嫌いのデュビエ	100
8	「沈黙」と「瓊林」	94	1	楽しみな出島の復元	97	1	わが四角関係(詩歌交友)	52	3	長崎サンワ例会の歩み	100
9	オリンピックと記念コイン	95	2	60余年の恋実る「青い目の蝶々夫人」	99	2	鴛鴦俳句	54	4	「瓊林」通覧記	100
10	さらば、軍艦島(端島)	97	57 今城厚二(G4)			67 種吉義人(41)			73 野元鴻(G1)		
11	「玉砕」拉孟作戦	99	1	「遠藤周作文学館」落成記	97	1	「瓊林」の出典について	54/66	1	「五六会」と「普賢」(1)	90
48 松竹秀雄(42)			2	芥川賞「聖水」 雑感他	98	2	入院雑感	82	2	「五六会」と「普賢」(2)	91
1	湯灣岳単人旅は島づたいに北上	60	58 中島文雄(27)			3	江戸の敵を長崎が討つ	92	74 新野武生(G6)		
2	片淵四丁目裏街道	63	1	残存記(1)(2)	98/9	4	無題/読み方テスト	101	1	拝啓 泥棒様	96
3	散歩道から	64	2	残存記(3)	100	68 渡部隆道(42)			2	ラバン・アジル	97
4	散歩道から-江の浦稲佐	65	59 高石洋一(44)			1	わが俳句讀	68	75 長島俊一(G17)		
5	散歩道から「稲佐土記」	66	1	「旅とコーヒー」	64	2	石を殺す話	74	1	長崎上海航路復活処女航海	85
6	月下美人が咲いた夜まで	67	2	「健康を考える」	66	3	吉野ヶ里遺跡に思う	75	2	「瓊林学館」と「瓊林館」について	99
49 畑瀬正也(41)			3	ネパールトレッキングの楽しみ	88	4	戦後50年-その随想断片	86	76 中山良一(G20)		
1	湖都大津雑感(その1)	90	4	同上(捕逸)	89	5	出西窯を訪う多々納弘光氏	91	1	素顔の中国ビジネス	84
2	湖都大津雑感(2・遺稿)	91	5	台湾への旅	99	69 樋口隆也(44)			2	逆転勝利	85
50 内野正文(43)			6	中南米を旅して	53	1	ワークキャンプ(我が青春)	81	3	素顔の中国ビジネス	87
1	浅野教授夫人訪問記	52	60 田代英一郎(42)			2	時代小説愉しみ(隆慶一郎)	83	4	素顔の中国ビジネス(3)	88
2	遺骨収集記(正・続)	54/5	1	われ幻の雑誌を見たり	86	3	同上(補筆)	84	①本表(1/3)~(3/3)では「瓊林」49-100号に収載した複数寄稿者76名・488通の原稿「表題」と「掲載号数」を一覧表示しています。②寄稿者欄はNo-氏名(卒業回数)を示します。		
3	遺骨収集記	56	2	東京揺風会ゴルフ会の事	92	70 三瀬清次郎(24)					
51 須見秀夫(36)			61 的野圭志(40)			2	薄命の「成隣会館」	54			
1	私版養生訓	85	1	島暮らし	52	3	十年目の邂逅	61			
2	ノスタルジアNCC	92	2	八月九日片淵の学舎被爆す	97						